

平成29年度 門川町立門川小学校 学校関係者評価書

学校の教育目標「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 子どもの育成」

重点目標〔 1 基礎学力の定着 2 基本的な学習習慣の定着 3 読書活動の推進 4 基本的な生活習慣の定着 5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進 〕

〔 4段階評価： 4～期待以上 3～ほぼ期待通り 2～やや期待を下回る 1～改善を要する 〕

重点目標	目標達成のための手段(評価指標)	学校の自己評価(分析・考察・改善策等)	自己評価	関係者評価	学校関係者評価【意見・感想・改善策等】
1 基礎学力の定着	(1) 分かる・できる授業の充実	○ これまでの授業改善や補充指導の取組等により、CRTにおいては、国語は目標値には至らなかったものの、上向きの傾向にある。算数においては、前年度より2.1ポイント上昇し、全国平均を1.7ポイント超えた。また下位層の割合も減少傾向にある。これまでの取組を今後も継続するとともに、内容の充実を図っていく。 △ 授業における学習態度指導の徹底及び家庭学習の習慣化と内容の充実については、児童の意識も向上しているが、まだまだ十分ではない。一層の定着を目指して、今後も取り組んでいく。	2	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童・教師共に目標を立て努力するという一体感を持ち、結果についても達成したら喜び合い、達成しなかったら今後の努力を約束しあうことで、向上が図れると思う。</li> <li>「パワーアップタイム」「サマースクール」「家庭学習の充実」等の工夫がなされ、児童も日々の積み重ねで、学力の向上につながっていると思う。</li> <li>国語の評定は目標値には至らなかったが、算数は上がっているの、授業のやり方・指導は良かったのではない。少人数指導も良い。国語では漢字の書き取り等が効果があるのではと思う。</li> <li>CRTの結果を見ても授業改善の成果が見られる。このままの取組を進めてほしい。</li> <li>算数が全国平均を1.7ポイント超えたことは、先生方の指導と子どもたちの意欲の表れの結果だと思う。算数はさらなるポイントアップを目指し、国語も向上を図ってほしい。</li> </ul>
	(2) 学習内容の定着を図るための補充指導の充実	* CRT(標準学力検査) ・平均得点率の全国平均との差(点) [目標値]国語±0・算数±0 H29:国語△-2.7・算数○1.7 (H28:国-2.8・算-0.4) ・評定1出現率(%) [目標値]国語10.0%以内・算数10.0%以内 H29:国語△10.2%・算数△10.5% (H28:国11.5%・算13.0%)			
2 基本的な学習習慣の定着	(3) 基本的な学習習慣の定着	* 児童自己評価「ほぼ毎時間しっかり聞いている」 [目標値]95%以上 → H29:△94.7% (H28:92.4%) * 児童自己評価「宿題・宅習:ほぼ毎日提出している」 [目標値]95%以上 → H29:△93.7% (H28:93.4%)			
3 読書活動の推進	(4) 読書活動の推進	○ 児童の委員会活動や読み聞かせボランティアの活動等により、読書冊数が増えてきた。図書室の利用もさらに推進していく。 * 1か月の読書冊数[目標値]25冊以上 H29:○29.5冊 (H28:22.3冊) * 1年間の年間貸出冊数[目標値]30冊以上 H29:○38.7冊 (H28:26.6冊)	3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書は優しさ・思いやり等の心の成長のみでなく、学力・知識の向上のためにも大切である。</li> <li>読書感想文に挑戦させる人数を増やすのはどうだろうか。読書冊数が増えるのは良いと思う。</li> <li>読書の習慣が定着することが一番だと思う。</li> <li>読書冊数や貸出冊数は増加したが、最後までしっかり読んでいるのか。</li> </ul>
4 基本的な生活習慣の定着	(5) 学校における基本的な生活習慣の定着	○ 教師の指導や委員会の呼びかけ等により、児童の意識が向上してきた。しかしまだまだ十分な定着がなされていない状況であり、日常指導や児童による委員会活動を連携させながら、充実を図っていく。 * 児童自己評価 「ほぼしっかりとやっている」 [目標値]85%以上 ・あいさつ:○89.4% ・ろう下歩行:○86.0% ・無言清掃:○90.1% ・整とん(くつ箱):○96.9% ・整とん(トイレスリッパ):○89.6%	2	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつも子どもたちが「こんにちは」と声をかけてくれ、またくつ箱のくつの並べ方も気持ちよく感じる。児童の意識が高くなっているのは確か。</li> <li>基本的な生活習慣は家庭からだと思う。家庭への情報伝達方法も一考を。</li> <li>年度当初に比べ、あいさつや右側歩行もよくできるようになった。これからも続けてほしい。</li> <li>この評価はあくまでも児童の自己評価であり、少し甘いかなとも思う。</li> </ul>
	(6) 家庭における基本的な生活習慣の定着	○ 4月に新たに児童の目標を記入する「子どもの成長を支え育む“かどがわ4か条”」のポスターを全家庭に配付した。目標値までには至らなかったが、昨年度の数値を上回った。今後もPTAと連携しながら保護者の啓発を図っていく。 ○ 夏休み中のラジオ体操については、参加者が増えてきているが、さらにPTAや地域とも連携した取組を行ってほしい。			<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の共働きが一般化し、基本的な生活習慣の定着はなかなか望めないことも多い。しかし、わずかな心遣いで子どもの心に響く言葉や教えはできる。地域・学校・家庭共に努力していきたい。</li> <li>地区や町の企画などに大いに参加して、社会性等の力を身につけてほしい。</li> <li>PTAとの連携、保護者への啓発等が今後も大切である。メディアも親のしつけや家庭での取り決めが大事。ラジオ体操については、地域でも子どもたちと話し合っていきたい。</li> <li>目標を立てることはできるが、それをやり遂げていない。途中で振り返り、再度目標に向かわせることが大切である。</li> </ul>
5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進	(7) 家庭における共通実践事項の取組の推進	* 家庭における共通実践事項の家庭自己評価 ・メディアに関する約束の設定「設定している」 [目標値]全校80%以上 → △72.3% (H28:70.2%) ・家庭学習の見守りの実践「いつも・時々確認する」 [目標値]全校90%以上 → △88.5% (H28:88.6%) ・家読の時間の設定「設定(週3～月1)している」 [目標値]全校60%以上 → △57.7% (H28:55.1%)	2	2	
総評	子どもたちは年齢相当の成長を遂げている。今後も継続して取り組んでもらいたい。また子どもたちのために、地域・家庭も共に努力していきたい。				